



中京区の学区の紹介

す ざ く だ い い ち

朱雀第一学区

朱雀第一学区は、約百年前の京都市が誕生した当時、^{かどのぐんすざくの}葛野郡朱雀野村や^{みぶ}壬生村と称されていましたが、大正7(1918)年に京都市に編入されました。

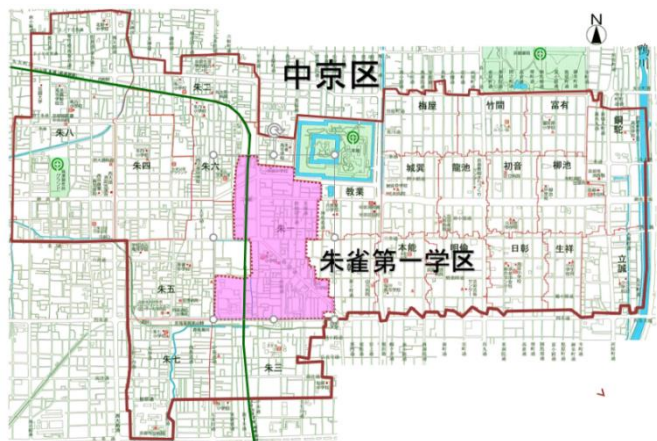
朱雀第一小学校校舎改築工事に先立って行われた文化財発掘調査では、平安京の都の跡の一部が校庭下から現れたそうです。

具体的には「朱雀院」の名が記された木簡や下駄、その他貴族の屋敷跡である「州浜」(すはま)が原形を留めて発掘されたことにより、重厚な文化財の上に学び舎が建てられ、以来百年以上輝かしい歴史を後世に継承されている学区であることが覗われます。

次に、現在の朱雀第一学区の状況を紹介します。

朱雀第一学区では人口が増加傾向にあり、地域の活性化が重要となるなかで、まさに「天の時・地の利」を得て、子ども達の「教育」「安全・安心」を第一に考え、更なる発展を遂げようと決意も新たにされているところです。

令和3年12月、地域住民の念願であった朱一学童クラブ、消防団詰所を併設した朱一自治会館が完成しました。地域住民が自由に使える集会場として、地域の防災拠点としての消防分団の拠点として、また、子どもたちの笑顔があふれ、働く親御さんが安心して預けられる学童クラブとして、地域活性化の核となり愛される施設運用を進めていきます。



朱一自治会館 と 朱一学童クラブ

学区の文化や歴史的建造物など 「若狭小浜藩邸跡」

江戸時代に多くの大名が京都に屋敷(藩邸)を設置しましたが、^{にしきょういけのうち}西ノ京池ノ内町一帯は京都所司代(京都の治安維持を行う江戸幕府の機関)であった若狭小浜藩^{さかいただあき}の酒井忠義の屋敷がありました。敷地の広さは家臣の屋敷も含めると約2万坪(約66,200㎡)もあり、広大な屋敷でした。

また、この屋敷はのちに徳川15代将軍となった徳川慶喜が文久3(1863)年12月から二条城へ移る慶応3(1867)年9月まで使用しており、その後の大政奉還の構想が練られた歴史的な意義のある場所です。



自治会・町内会に加入しましょう

朱雀第一自治連合会

朱雀第一自治連合会は学区内にある46の自治会・町内会と、各種団体が協働し、地域の活性化と安心安全、問題解決に取り組む、地域住民による組織です。

主な年間行事

7～8月 ちびっこプール

8月 夏まつり

9月 敬老茶話会

10月 学区民運動会

11月 学区総合防災訓練、秋まつり、少年補導委員会キャンプ

1月 餅つき大会、剣道道場開き



ちびっこプール



夏まつり



敬老茶話会



少年補導委員会キャンプ

主な月間行事

いきいき筋トレ教室

すこやかサロン

キッズパーク（隔月）

子ども見守り隊 毎日実施（学校開校中）



学区総合防災訓練



秋まつり



子ども見守り隊



餅つき大会



いきいき筋トレ教室



すこやかサロン



キッズパーク

※例年実施していました主な行事ですが、新型コロナウイルス感染症予防対策として、開催を自粛する場合があります